

西柘植小だより

みんなちがうからすてき げんきいっぱい えがおいっぱい

NO.22

2025 (令和7) 年 12 月 22 日

伊賀市立西柘植小学校

発行責任者 里田雅彦

5年生伊賀学ジュニア検定

11月19日、上野商工会議所さんによる伊賀学検定講習とジュニア検定試験がありました。講習では、「芭蕉の『奥の細道』の旅の期間はどれくらいか。」「藤堂高虎は上野城に五層の天守閣を建てようとしたが、なぜ倒壊したのか。」といった問題について、講師の先生が説明してくれました。事前に配られたテキスト



を使ってしっかりと予習できている子も多く、楽しく話を聞くことができました。その後、ジュニア検定試験を受験し、問題に取り組みました。検定に向けて学習する中で、今まで知らなかったことを知ったり、事実を確認したりすることができました。こうした活動から、伊賀のことをますます好きになってほしいと思います。後日届く検定結果を子どもたちは楽しみにしています。

部落問題を考える小学生のつどい

11月27日、伊賀市内の各小学校の6年生の代表が集まり、ゆめポリスセンターとDMGMORI アリーナの2会場で行われました。本校も代表2名が9分散会の中の2つの分散会に参加し、他校の子どもたちとこれまで学んできたことや考えてきたこと、活動してきたことなどを交流しました。思いを聴き合い、寄り添いながら「差別をなくすために、今、自分にできること」について考えを伝え合いました。交流を通して、部落問題をはじめとするあらゆる差別をなくすために、差別をしないだけでなく、差別を許さないという気持ちをもつことが大事だということが確認されました。代表2名から学級に「つどい」の還流報告が行われ、他校の取組や考えを知るとともに、これまですすめてきた「なかまづくり」の活動をさらにすすめていこうと確認し合いました。

個別懇談会

12月1日、2日、4日の3日間、個別懇談会を行いました。保護者の皆様には、お忙しいところご協力いただきありがとうございました。懇談では、学校での子どもたちの様子を伝えさせていただくとともに、お家での様子やがんばりを聞かせていただきました。日頃から気になっていることも聞かせていただき、今後の指導にいかしていきたいと思ひます。

お米の引き渡し式

3日、学習田で収穫したお米を今年度も特別養護老人ホーム「いがの里」さんに購入していただくことになり、お米の引き渡し式を体育館で行いました。式には、いがの里施設長さんをはじめ、米作りでお世話になった西柘植まちづくり協議会やJAの皆さんにもお越しいただきました。学校を代表して、5年生が出席し、進行、挨拶を自分たちですすめました。少し緊張した様子も見られましたが、一生懸命取り組む姿はとても立派で一步一步最高学年に近づいてきていることを感じました。施設のお年寄りの皆さんに喜んでもらおうとお米のラベル作りにも意欲的に取り組み、1枚1枚個性的なラベルができあがりしました。施設長さんから「おいしくいただきます」とお言葉をいただき、子どもたちはうれしそうでした。



PTA 臨時総会

3日、PTA 臨時総会が行われ、2026年度と2027年度のPTA 役員選考について役員さんから説明がありました。お忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。

2026年度についてはこれまで通り、2027年度については昨年度の会員アンケートの意見をふまえ、大きく変える方向で現段階での「案」が示されました。今後のPTA活動が運営しやすいものとなるよう、組織の改編も含めた提案でした。今回は、案に対する意見を求め、最終決定は次年度の春の総会で行う予定になっています。考えを出し合ってよりよいものにしていきたいと思えます。当日、欠席された会員の皆さんにはすでに資料が配付されています。ご覧いただき、ご意見をPTA事務局までお願いします。

持久走最終記録計測

子どもたちは、これまで「朝の駆け足」にも取り組み、体力づくりに取り組んできました。体育の時間には、1・2年生は約1000m、3・4年生は約1500m、5・6年生は約2000mの距離を何度も走り練習を重ねてきました。そして、11日、最終計測の日を迎えました。（5年生はインフルエンザによる学年閉鎖のため19日に延期しました。）



寒い中、応援に来ていただいた保護者の皆さん、ありがとうございました。子どもたちは、応援の声によりいつも以上にはりきり自分の力を出し切ろうとがんばっていました。それぞれに目標をもち精一杯走る子どもたちの姿を見ていただくことができました。